



北急延伸と 周辺まちづくり

令和5年(2023年)10月

箕面市 地域創造部
鉄道延伸室、北急まちづくり推進室、交通政策室

本日の内容

1. 北急延伸と周辺まちづくり

2. バス路線の再編

3. 北急延伸開業の機運醸成

1. 北急延伸と周辺まちづくり

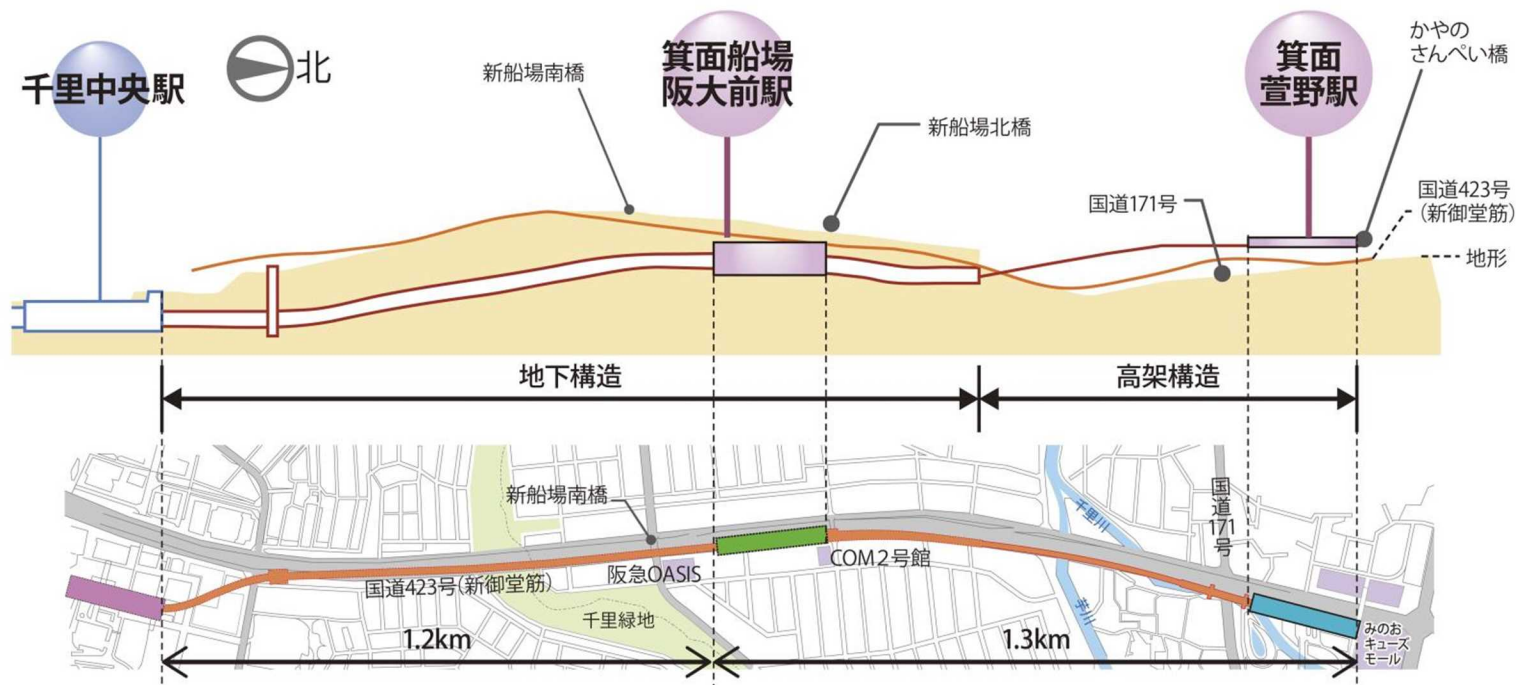


箕面船場阪大前駅（駅前広場）完成イメージ



箕面萱野駅完成イメージ

1-1. 事業概要（運行主体と整備体制）



延伸線の運行主体と整備体制

電車の運行は、北大阪急行電鉄(株)が行います



箕面萱野駅の様子



- 箕面萱野駅の上屋は令和5年6月に竣工。
駅部ではレール敷設も完了し、駅務室の建築や電気設備工事が進みます。
開業に向けて、駅ビルや高架下店舗の建築も進んでいます。

箕面萱野駅の様子



● 箕面萱野駅（ホーム）



● 分岐部

1-2. 工事進捗状況（高架区間／箕面萱野駅）

箕面萱野駅(ホーム) 完成イメージ



- 「可動式ホーム柵」を設置し、「線路への転落」や「列車との接触」を防止します。また、ホーム床面を嵩上げし車両との段差解消や、ホームと車両の隙間を解消し、乗降時の隙間への転落を防止し、ベビーカーやスーツケースの乗降も容易にしています。

【画像提供】北大阪急行電鉄

高架区間の様子



- 令和4年8月には「箕面萱野駅」から「箕面船場阪大前駅」の駅間を結ぶ高架区間の土木構造物が完成。高架橋上でもレール敷設工事が進んでいます。



- 線路部

箕面船場阪大前駅の様子



- 地下3階（ホーム・軌道階）。
令和4年5月末に、シールドトンネルは
千里中央駅北端部に到達しています。



- 地下3階（ホーム・軌道階）

1-2. 工事進捗状況（開削区間／箕面船場阪大前駅）

箕面船場阪大前駅(ホーム) 完成イメージ



【画像提供】北大阪急行電鉄

シールドトンネル区間の様子



● 箕面船場阪大前駅～換気所間

1-3. 北急延伸事業（開業日）

- 平成28年に工事に着手してから7年、このたび、工事が順調に進捗していること、また、各種試験や検査の実施におおむね目途がついたことなどを総合的に判断し、北大阪急行延伸線の開業日を令和6年3月23日に正式決定しました。

令和6年 北大阪急行延伸線
3月23日土 開業



8月1日から
箕面ラッピング
トレインが
運行中!

箕面に2つの新駅
「箕面萱野駅」
「箕面船場阪大前駅」誕生

大阪都心まで
ダイレクトアクセス!

箕面萱野
箕面船場阪大前
千里中央
江坂
新大阪
梅田
なんば
なかもず

令和6年 北大阪急行延伸線
3月23日土 開業



箕面に2つの新駅
「箕面萱野駅」
「箕面船場阪大前駅」誕生

大阪都心まで
ダイレクトアクセス!

箕面萱野
箕面船場阪大前
千里中央
江坂
新大阪
梅田
なんば
なかもず

1-3. 北急延伸事業（運賃）

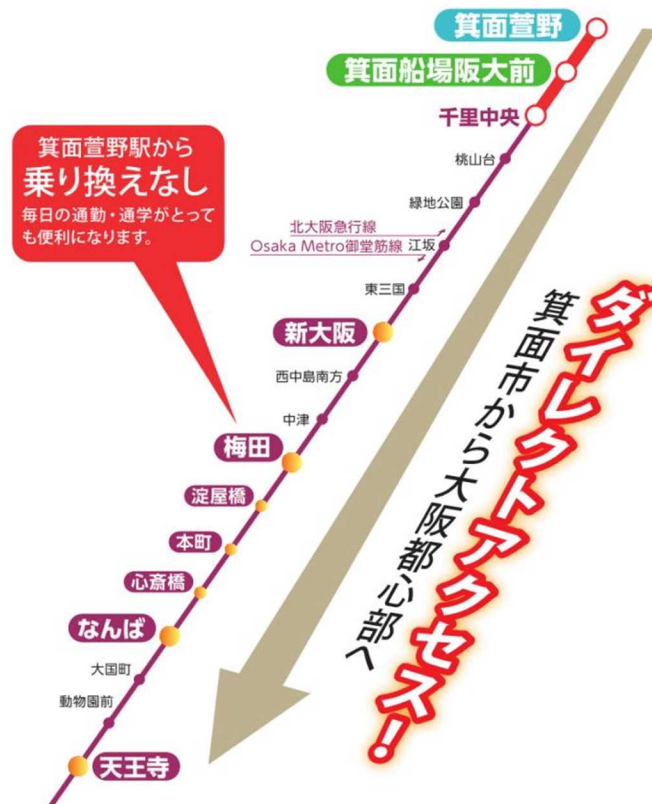
- 運賃について、営業主体である北大阪急行電鉄が令和5年6月2日付けで国土交通省近畿運輸局長に認可申請され、8月9日付けで認可されました。

延伸線開業後の運賃表

	箕面萱野	箕面船場阪大前
箕面萱野		
箕面船場阪大前	160円	
千里中央	190円	160円
桃山台	200円	190円
緑地公園	220円	200円
江坂	240円	220円
東三国	430円	410円
新大阪	430円	410円
西中島南方	480円	460円
中津	480円	460円
梅田	480円	460円

北大阪急行線

大阪メトロ御堂筋線



公共交通の利用促進と運賃負担の軽減

北大阪急行電鉄と阪急バスの乗車券セット

- ・ 北急線内1日乗車券480円相当＋阪急バス230円×3枚＝1,170円相当（通常価格）
- ▶ 880円で販売（290円割引）

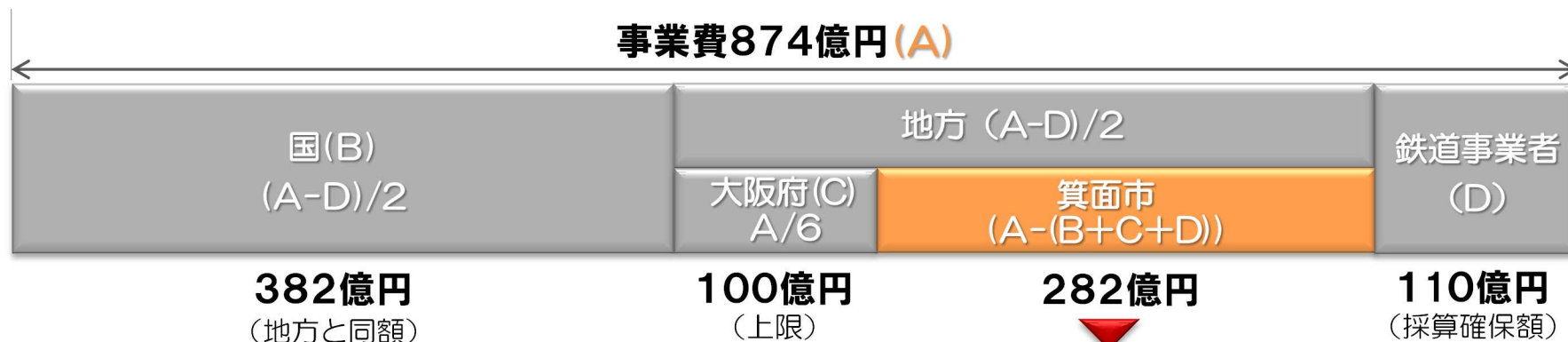
学生の通学定期に対する補助

- ・ 路線バスの再編に伴い、北大阪急行電鉄と阪急バスを乗り継ぐ必要が生じ、通学費用が増加する学生に対して、その緩和措置として、**増加する通学費用の最大50%の補助**を実施（令和6年度限り）

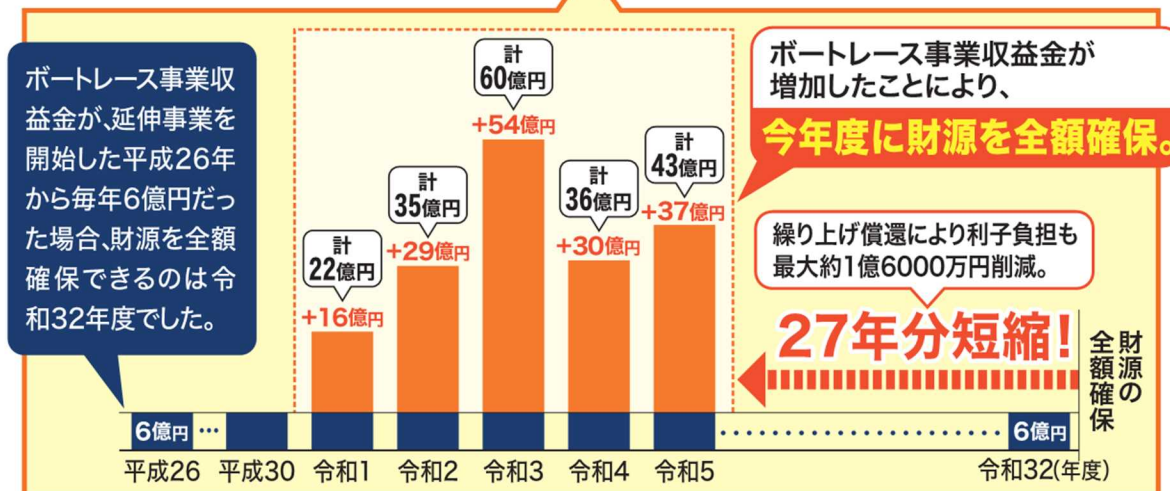
※販売方法など詳細が決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。

1-3. 北急延伸事業（全体事業費）

- 市の負担額282億円は、これまで貯めてきた北大阪急行線延伸整備基金と、ボートレース事業の収益金のみで賄っています。市はこの財源ルールを条例（箕面市財政運営基本条例）に定め、守り続けています。
- 市負担分の財源について、これまでは令和32年度までに確保できる見込みでしたが、ボートレース事業の収益増加により、令和5年度には全額確保できることとなりました。



箕面市の負担想定額282億円は
“北急貯金”と“ボートレース収益金”のみで賄います



年間614億円。延伸がもたらす経済波及効果は絶大！

鉄道の延伸は、交通の利便性を向上させるだけでなく、さまざまな経済波及効果をもたらします。改めて整備効果の検証を行ったところ、初期効果は3227億円、年間の効果は614億円となり、当初試算（平成26年2月）を大幅に上回りました。特に初期効果は、商業地の資産価値が向上した影響などを受けて、当初試算の約1.5倍となっています。

需要予測

延伸線には、**1日約4万5000人**が乗降すると見込まれています。

経済波及効果

初期効果

〈当初試算〉
2172億円 → **3227** 億円

地価上昇効果 903.2億円

鉄道によって交通利便性が上がることから、周辺の地価が上昇します。

延伸工事に伴う経済波及効果

新たに雇用される労働者数：約8800人
生み出される経済波及効果：2324億円

工事に伴って雇用が創出されたり、資材などの生産が増加します。また、雇用された人の所得が消費に充てられることによって、間接的な経済波及効果が生まれます。

年間の効果

〈当初試算〉
578億円/年 → **614** 億円/年

延伸に伴う駅前整備や周辺の利便性向上により、人口が約4500人、事業所が480所余り増加すると見込んでいます。

商業施設などの売上の増加効果 577億円/年

新駅や沿線で商業施設が増加したり、既存の店舗で新駅利用者が買い物したりすることで、売上が増加します。

駅周辺道路や駅前広場の整備による効果 27.7億円/年

駅周辺の道路整備により利便性が向上するほか、イベント会場にもなる駅前広場が整備されることで、利用者が増加します。

など

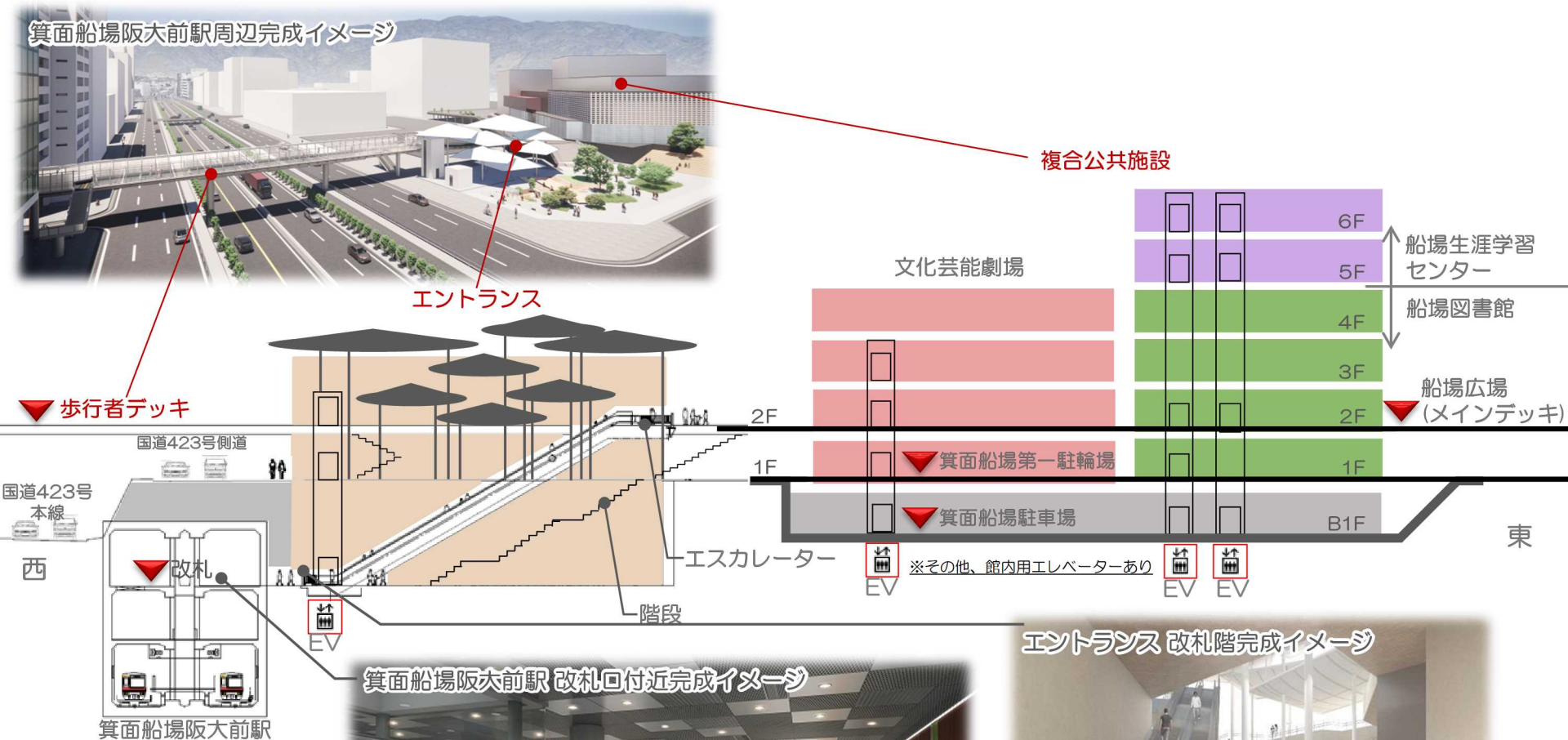
1-4. 箕面船場阪大前駅周辺のまちづくり（施設配置）



1-4. 箕面船場阪大前駅周辺のまちづくり（施設配置）

箕面船場阪大前駅周辺 断面イメージ

箕面船場阪大前駅周辺完成イメージ



箕面船場阪大前駅 改札口付近完成イメージ



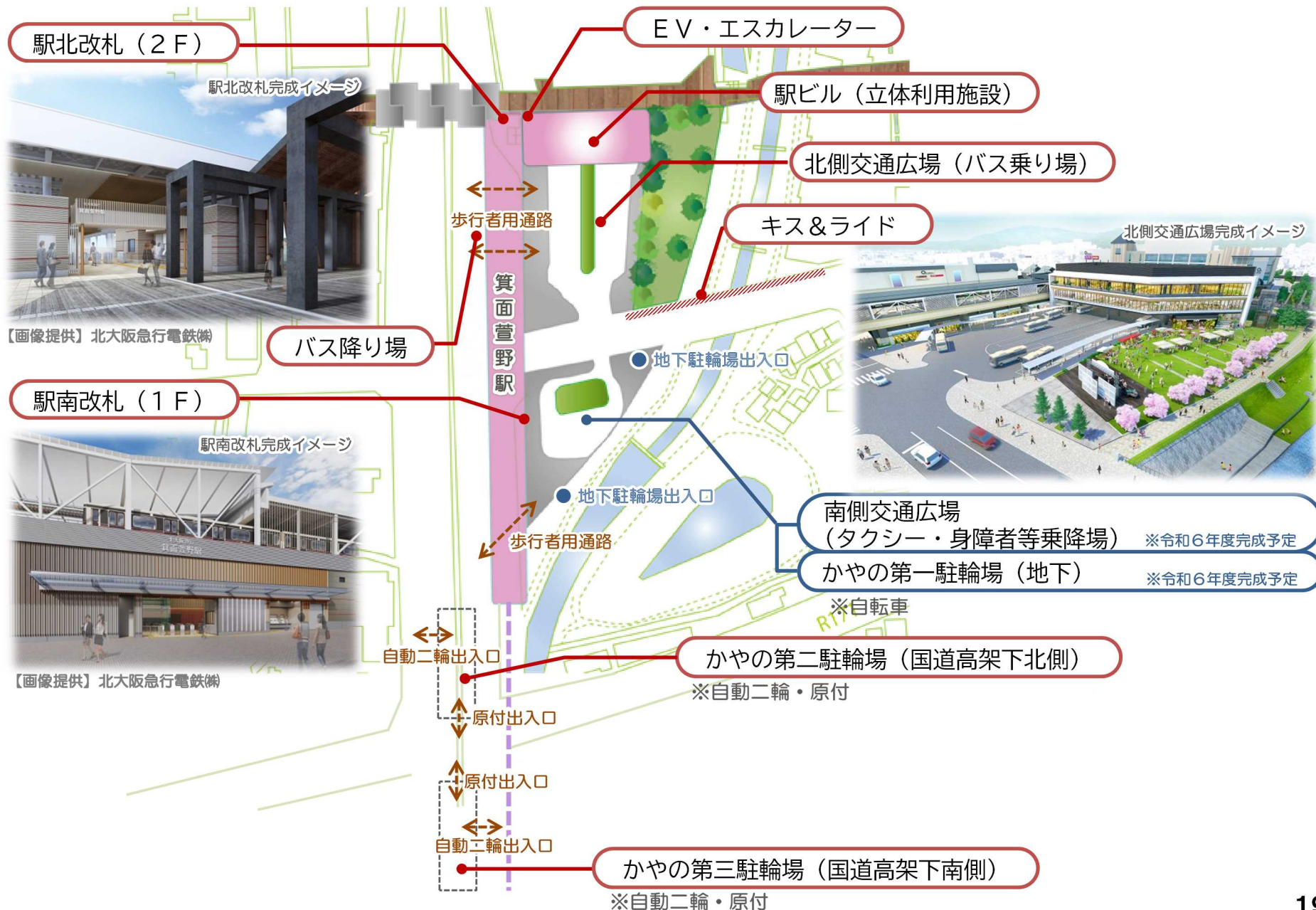
エントランス 改札階完成イメージ



1-4. 箕面船場阪大前駅周辺のまちづくり（施設配置）



1-5. 箕面萱野駅周辺のまちづくり（施設配置）



1-5. 箕面萱野駅周辺のまちづくり（仮設施設等の配置）

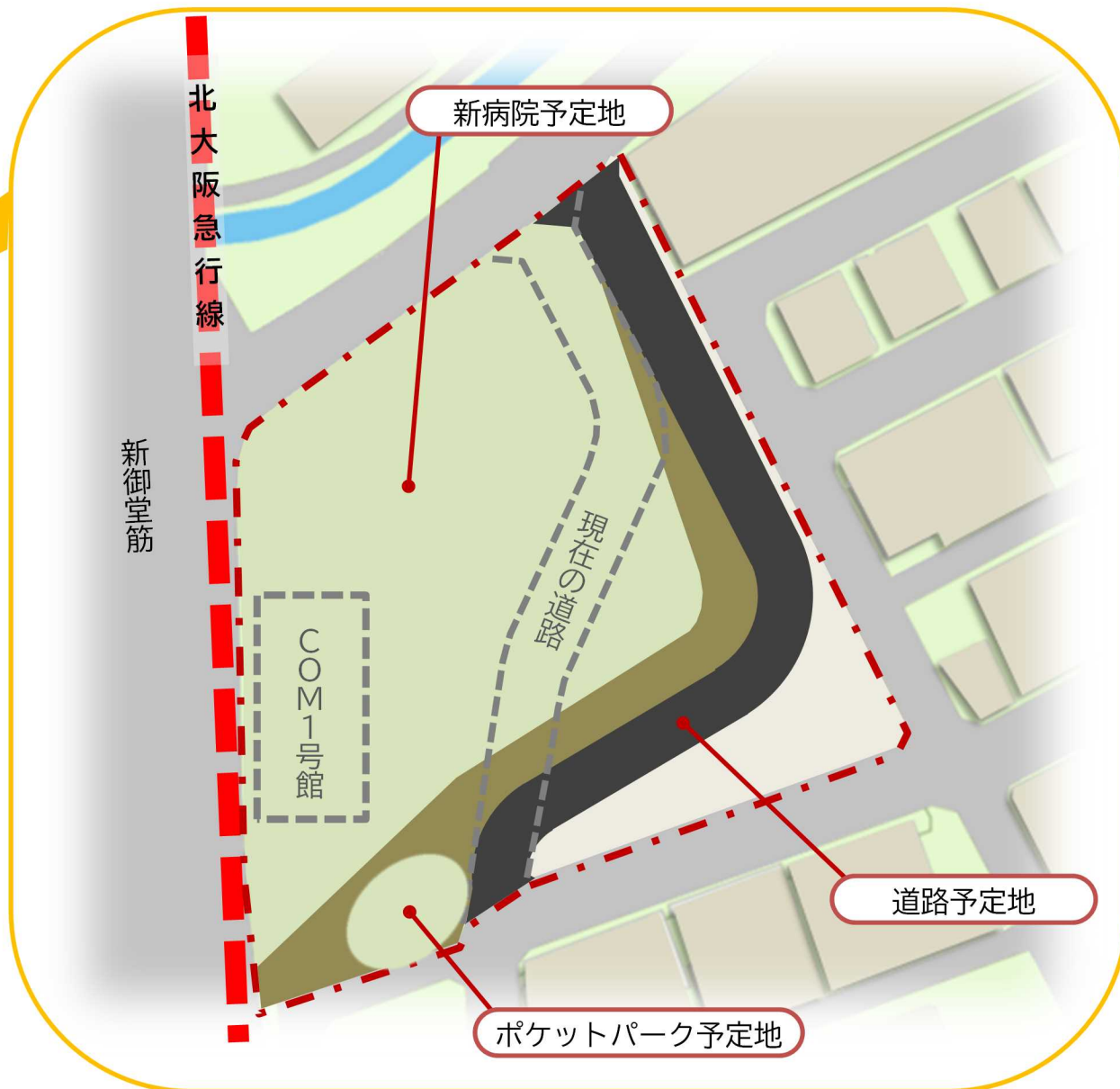


1-6. 新病院予定地の周辺整備（施設配置）

▼位置図



▼施設配置図



1-6. 新病院予定地の周辺整備（施設概要・スケジュール）



今後のスケジュール

	2022 R4	2023 R5	2024 R6 (年度)
道路の付替え		現在 工事	
ポケットパークの整備			工事
COM1号館解体	工事		